

【学習目標/学習方法】

- ・英語の基本的な知識を身につけ、実際に運用できる能力を養う。
- ・英語を学ぶことを通して、言語や文化についての理解を深め、国際理解を深めていこうとする態度を養う。
- ・自分の考えや、思いを適切に伝えることができ、他者の話を理解しながら互いを認め合い、自身を高めていこうとする力を養う。

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1年	Unit 0 (小学校 復習他) 6h	Unit1 (be動詞、 一般動詞) 9h	Unit2 (一般動 詞、疑問 詞) 9h	Unit3 (疑問詞) 発表 11h	Unit4 (疑問詞、 命令文) 12h	夏 休 み	Unit5 (三人称単数) 現在形 14h	Unit6 (代名詞) 14h	Unit7 (現在進行形) 14h	Unit8 (want to など) 14h	冬 休 み Let's Read 4h	Unit9 (一般動詞 の過去形) 12h	Unit10 (be動詞の 過去形) 12h	発表 復習 活動 5h	Let's Read 4h
2年	Unit0 春休みの 思い出 (be 動詞過去、 過去進行 形) 4h	Unit1 旅行の予定を説明し たり、海外で経験で きることなどについて 伝える他 (be going to, will SVOC,SVOC) 14h	Unit2 好きな食べ物 について理由 や考えと共に 紹介する他 (接続詞) 14h	Unit3 将来像や夢などに ついて考え、取り組 みたいことにつ いて説明する他 (不定詞) 17h	夏 休 み	Let's read 時間軸に 沿って物 語の概要 をとらえる 4h	Unit4 海外との生活習慣や文 化の違いを知り、取るべ き行動について考える他 (助動詞、動名詞) 16h	Unit5 誰もが暮らしやすい社会 について考え、その方法な どについて伝える他 (疑問詞+to) 16h	Unit6 身近なトピックについ て調査を行い、データを 比べて発表する他 (比較) 21h	冬 休 み Let's read 場面や 心情を 読み取 る 5h	Unit7 世界遺産について知 り、その特徴や価値を 説明する他 (受け身) 18h	発表 復習活 動 6h	環境課題 について 読み取る 5h	Let's read	
3年	Unit0 夢になっ ているこ とを伝え 合う 4h	Unit1 日本のポップカ ルチャーの魅 力を伝える(現 在完了①)他 15 h	Unit2 人や環境にや さしいファッショ ンの取り組み について説明 する(現在完了 ②、現在完了 15h	Unit3 絶滅のおそれのある 動物について知り、 大切なことや取るべ き行動について伝え る(不定詞)他 16h	Let's read 場面や 心情を 読み取 る 6h	夏 休 み	Unit4 防災・安全への意識 を高め、地域の一員 として取るべき行動を 伝え合う(間接疑問 文)4h 16h	Unit5 ガンディーの功績を知 り平和や人権の意味に ついて考える(接触節、 関係代名詞)他 16h	Unit6 国をこえて助け合うこと の大切さを知り、願いや思 いを伝える(仮定法)他 18h	冬 休 み	総合問題演習、発表活動 22h	Let's read エネルギー問題 について 読み意見 を伝える 6h	Let's read 伝記を読 んで人物 の歩みや 功績を読 み取る 6h		

計 140 h

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実践のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価資料	・定期テスト ・単語・連語テスト ・基本文テスト ・小テスト ・パフォーマンステスト(会話・スピーチ・音読)(正確さ・流暢さ・つなぎ言葉等) ・リスニングテスト ・ディクテーションテスト ・単元テスト	・コミュニケーション活動 ・授業での即興的なスキットやスピーチ(内容・工夫) ・定期テスト ・単元テスト ・パフォーマンステスト(内容・工夫) ・作文等作品(内容・工夫)	・授業観察(活動への取り組み状況など) ・提出物に対する取り組み ・会話テストやスピーチ(話し方・積極性等) ・授業での即興的な会話やスピーチ、自己表現作品等の取り組み

・授業について * 授業は基本的に英語で行います。集中して聞き続けることと理解が進みます。 * 授業は教科書の内容を中心に進めて行きます。また、学んだことを使って応用的な内容を行うこともあります。 * 副教材としてワークなどを使用します。その他、教科係から連絡があったものを必ず持ってきてきましょう。 ・生徒のみなさんに * 英語を学ぶ時「聞く、読む、話す、書く」の全てが身につくことで英語力になります。 * 大切なことは「積極性」です。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」「他の人とのやり取り」すべての活動に積極的に取り組みましょう。 * わからないところは、質問しましょう。 * 英語を通して学べる様々な国の文化についても、関心をもち、自分の視野を広げていきましょう。 * 教材がないと自分の学習が遅れます。忘れ物をした場合は、授業開始前に必ず先生に伝えましょう。	・家庭学習について * 授業の最後に課題があります。学習の定着に必要ですので、必ず取り組みましょう。 * 授業で行ったことの復習は、その日のうちにやりましょう。(教科書の音読、ノート練習、まとめ 等) * 提出物は計画的に取り組み、期限までに提出しましょう。課題は評価に含まれます。 ・試験前はこのような取り組みも * 教科書の範囲を音読して書く練習をしましょう。(暗唱できるまで読むことで、読み方や使い方などの知識を増やすだけでなく、内容の理解にもつながります。) * ノートやワークシートなど、一度書いたものの発音や書く練習をしましょう。(授業中に書いた文や、語句を確認しましょう。) * ワークの問題の間違ったところを必ず書き直しましょう。(一度学んだことを「繰り返し」復習することが学習の定着には大切です。) * テレビの英語学習番組や、映画、音楽など、実際の英語を見聞きしたり発音する時間をもつと、英語力向上につながります。
--	---